

第6回
男山地域まちづくり連携協定
年次報告会

令和元年11月1日

男山地域まちづくり連携協定の締結

地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住み続けたい男山

を目指し、京都府、八幡市、関西大学、UR都市機構が連携して取組んでいこう！



平成23年 9月 関西大学団地再編プロジェクト(文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業)開始

平成24年 4月 八幡市・京都府・関西大で戦略会議を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年 4月 UR都市機構が加わり連携協議会を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年10月 男山地域まちづくり連携協定の締結(無期限) ⇒ 調査・検討・提案・実践・検証 ⇒

平成28年 3月 文科省補助事業終了

平成26年11月 - 令和元年11月 第6回年次報告会

男山地域まちづくり連携協定の目的

- (1) 次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくりの導入・確立
- (2) 多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立
- (3) 地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4) 住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

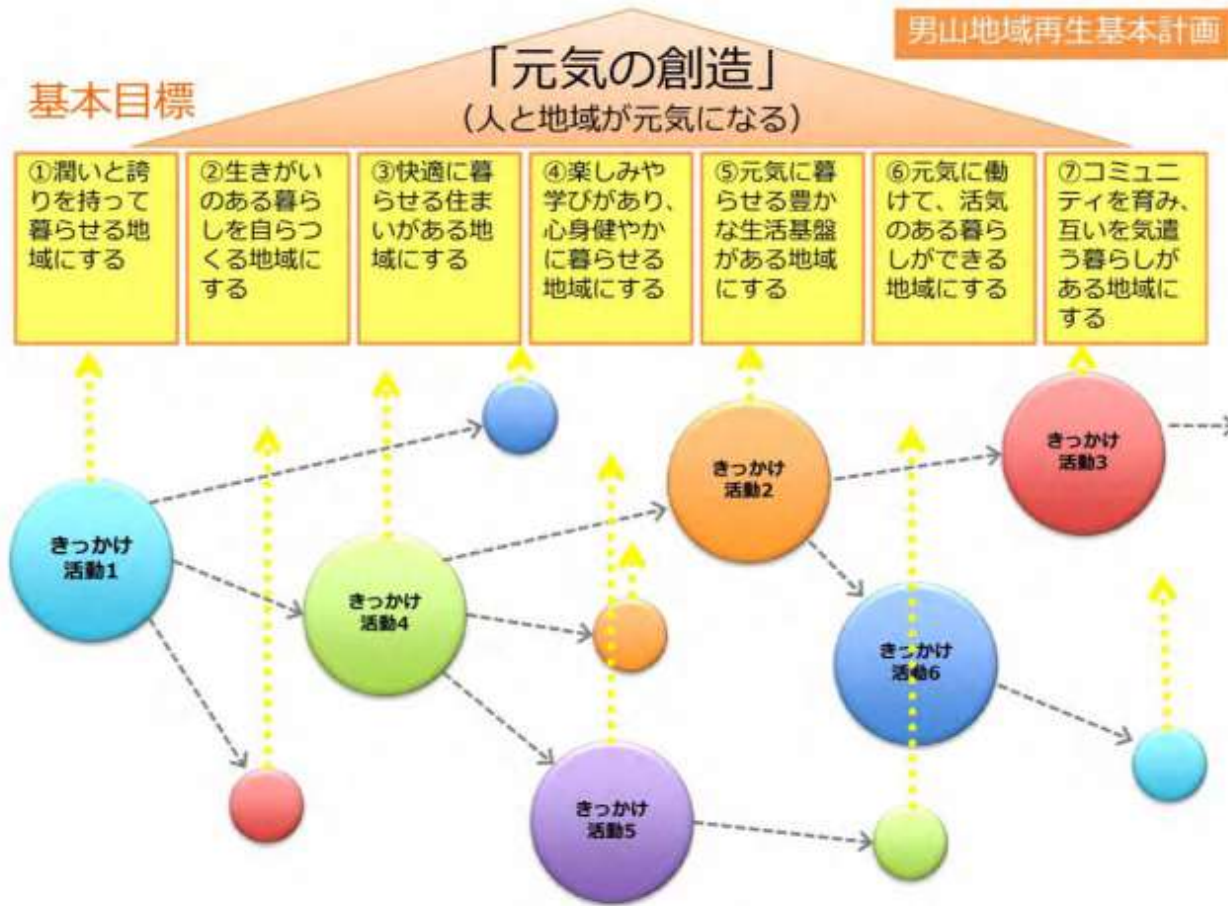
男山の将来目標

地域とともに元気な暮らしができる、
住みたい、住み続けたい男山



平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

「元気の創造」を生み出す7つの基本目標と「きっかけ活動」



現在、連携・協力事項により、具体的な取り組みである
様々な「きっかけ活動」が始まり展開している。

子育て支援の取組み

(1)次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくり

ダンチ de コソダテ in 男山 の概要



子育て世代に向けた住宅の供給

- ・リノベーション住宅の供給
- ・エントランス改修による団地環境整備
- ・若年層世帯を対象とする家賃負担の軽減



地域子育て支援施設

「おひさまテラス」の開設・運営

これら2つの事業を柱として、UR男山団地をきっかけとした、まち全体の子育て環境の再編を目指す。

ダンチ de コンダテ の取組み

子育て層などの若い世代へ訴求し得るリノベーション住宅を、関西大学設計プランを主軸として、UR男山団地に投入（H26年度より過去5回実施）＜H26～30年度供給実績17プラン30戸＞

関西大学大学院生による入居後の住まい方調査をもとに、改善した量産化プランとしてプロタイプモデルも供給。

【写真】 関西大学設計リノベーション住戸の一例



H26年度「のびやかに暮らす」



H27年度「ひろく暮らす」



H28年度「ロビーラウンジのある住まい」



H29年度「L字型引戸使い分ける自由な暮らし」



平成30年度の設計を行った学生たち



H30年度「自分で作っていく住まい」

ダンチ de コソダテ の取組み

今年度も「DIYできるリノベーション」としてB・C地区で供給。

【R1年度プラン①】B28-507「大きな玄関土間のある住まい」

玄関横の和室を土間化し、玄関とバルコニーをつなぐ。

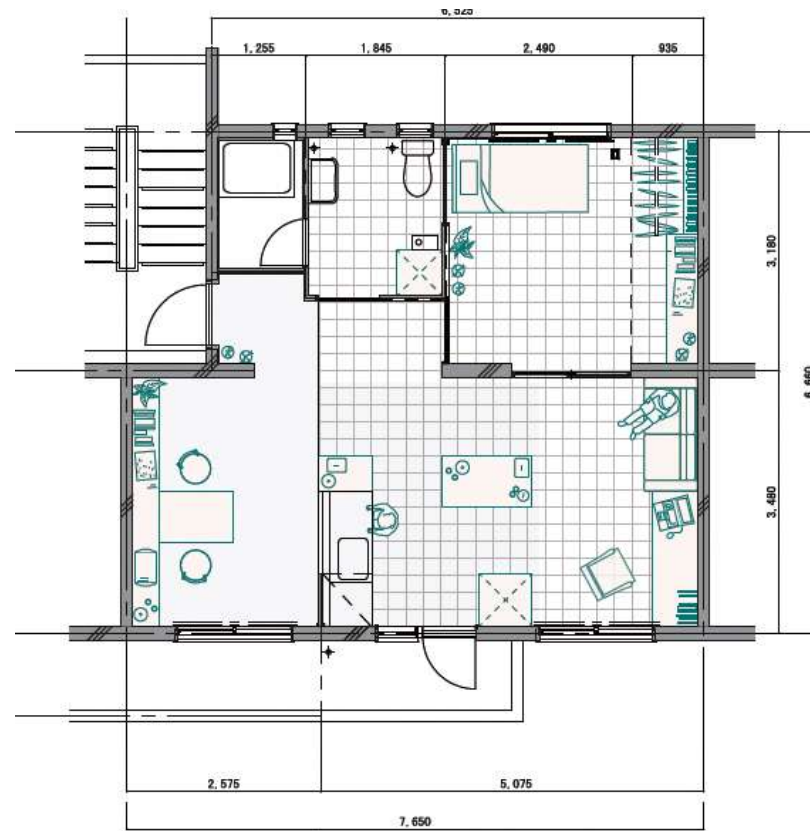
土間からバルコニーにつながる窓は掃き出し窓になっているため、玄関からバルコニーまでを一体的に使うことができる。

土間は約6畳のスペースがあり、リビングや客間、ワークスペースなどにも利用することができる。



壁は塗装仕上げとし、東側の壁はグレーで塗装することで、南北の連続性をつくる。

建具は半透明ふすま、欄間をアクリルにすることで、建具を閉じているときも空間の連続性を感じられるようにする。



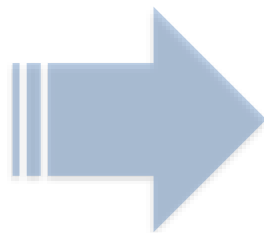
入居者特典に「DIYキット」を贈呈。だんだんラボと連動した取組に。

R1供給予定:新規2プラン・過年度3プランの計10戸

ダンチ de コソダテ の取組み

■R1年度プラン②「縁側のある住まい」 C15-107

Before<3K>



After<1R>

北側を玄関から続く土間とすることにより、自転車やベビーカーなどを直接室内に持込みが可能となる。水廻りと南側の部屋は土間から205mmの高さがあり、南側と土間の境界に縁側空間を作り、土間空間でのアクティビティを広げる。

北側の窓の目の前の外構の樹種などを変更し、住む人通行する人が楽しめる空間とする。



ダンチ de コソダテ の取組み

若年層世帯を対象とする家賃負担の軽減

子育て世帯や予備軍となる若年世帯を対象とする家賃負担支援メニューをUR男山団地に投入。

割引制度	対象世帯	家賃割引額
子育て割	子育て世帯(H28.9月より新婚や婚約中の方、妊婦の方にも対象拡大)	最大9年間 20%割引
そのママ割	子育て世帯	3年間 20%割引
U35割	35歳以下の世帯の方(H28.1より29歳⇒35歳に対象拡大)	3年間 20%割引
近居割ワイド	ご親族と八幡市内で近居される子育て世帯等	5%割引



ダンチ de コソダテ の取組み

おひさまテラスの運営



子育て世帯をサポートする地域子育て施設を平成26年度より開設。

小さな子どもたちと生活するのは、時に孤独を感じますがそんな親子に「ほっとできる居場所」を与えてくださいました。

はじめは緊張していましたが、やさしく接して頂き、楽しく遊べるようになりました。

アットホームでいつ誰が来ても温かく迎えてくれる雰囲気で利用しやすいです。子どもを育てる親御さん達にすすめてほしいです。

なかなか人に会う機会がなく人見知りだった子どもがリラックスして遊ぶようになってくれた事がすごく嬉しいです。

たくさんお友達もできました。たくさんダンスも踊れるようになりました。たくさんお話もできるようになりました。おひさまテラス大好きです。

クリスマス会をするとのこととどんな感じなのかなと思い来ました。皆元気で雰囲気もよく、これから時々来てみようと思いました。私は人見知りですがママ友と育児の相談ができたらいいなと思います。

八幡市民ではなくても利用させてもらっています。八幡に帰れる所があるので嬉しいです。

初めておひさまテラスに来ました。明るい雰囲気のお部屋に先生やみなさんも気さくでまた来たいと思いました。

京都府子育て支援表彰(地域貢献部門)受賞!

地域包括ケアの確立

(2)多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で
住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立

八幡市地域包括ケア複合施設YMBT

地域密着型特別養護老人ホーム 定員 29名

高齢者あんしんサポートハウス 定員 20名

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

多目的ホール

UR男山団地内において

平成27年11月1日 地域包括ケア複合施設YMBT 開設

地域包括ケア複合施設YMBTの役割①

多様な高齢者のニーズに対応できる施設

- ・地域での生活を24時間体制で支援(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- ・低所得者向けの高齢者居住施設(あんしんサポートハウス)
- ・地域の重度要介護者が生活する施設(地域密着型特別養護老人ホーム)



折り紙教室



実習生との交流

地域包括ケア複合施設YMBTの役割②

元気高齢者の参画、地域へのサービス提供の場の確保

- ・多目的ホールの活用



毎朝のラジオ体操



出前講座、地域の催し等



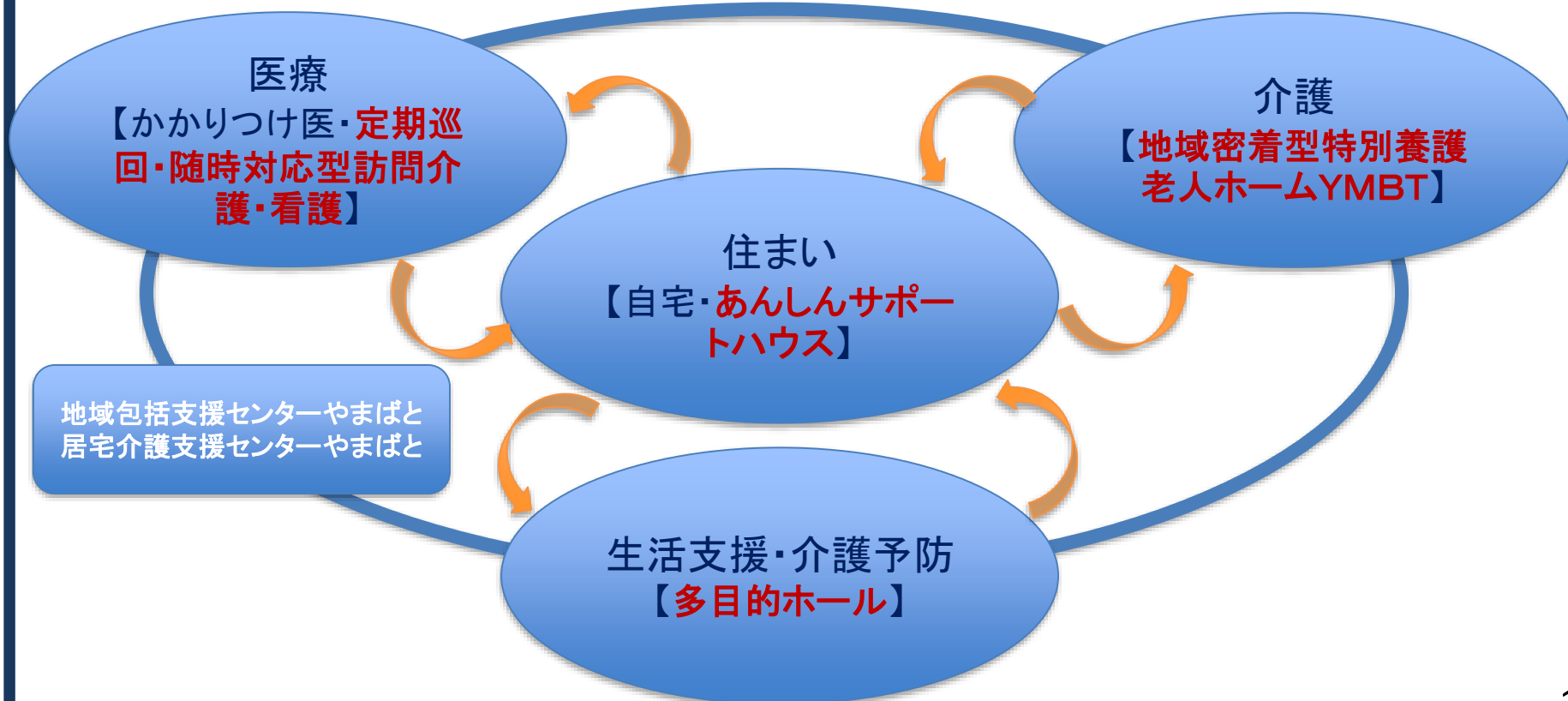
介護予防への取り組み

地域包括ケア複合施設YMBTの役割③

地域包括ケア推進拠点

- ・医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスを包括的に提供

地域包括ケア



健康福祉分野を中心とした 男山地域再生プロジェクト

絆ネット事業とは

【目的】

地域の高齢者、障がい者、児童などの見守り・生活支援を進める上で、複数機関の連携による支援や公民協働での支援など、地域の様々な主体による取組を横断的に調整・推進し地域全体での新たな見守り活動を展開、地域福祉の再構築を目指す。

【実施主体】

八幡市社会福祉協議会

取組み内容

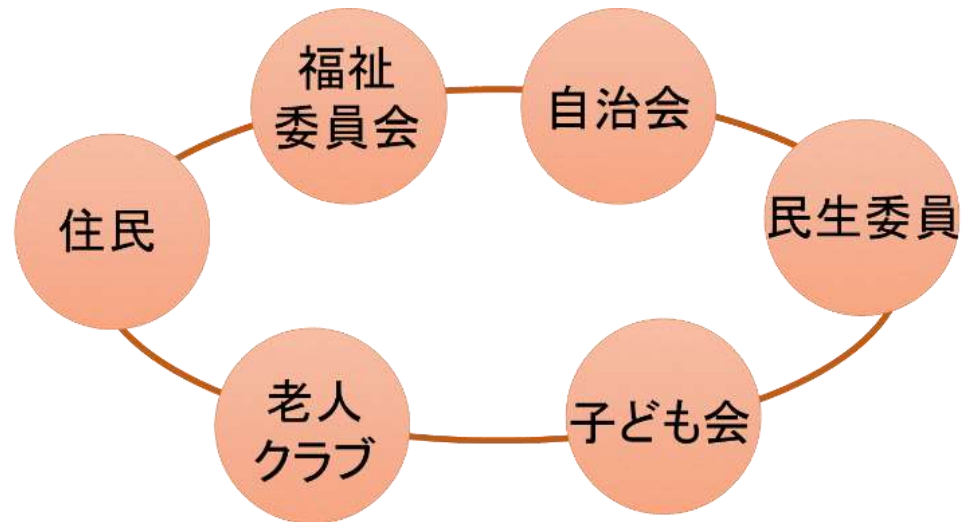
- 地区座談会（住民による見守り・支え合い活動）の推進
- 絆ネット地域懇談会の開催

地区座談会の推進

概要

自治会、福祉委員、民生児童委員、老人クラブ等の地域団体が地域の実態共有や課題解決に向けた取組みについて協議するネットワークとして、自治会単位での地区座談会を推進している。

また地区座談会を通して、取組みに応じた組織化等の活動支援を行う。



想定される団体のイメージ図

地区座談会の推進(取組例)

男山B地区見守り隊

手上げ方式の見守り活動と下校時のパトロールなどの「さりげない」見守り活動を進め、異変時の情報が入れば見守り隊が対応することで、異変発見や行政や専門機関につなげる仕組みがある地域へ。



男山八望地区福祉座談会

地域の掲示板等に「困りごと相談」のチラシを掲示し、地域と社会福祉協議会が窓口となる仕組みづくりを行った。

また、内容を必要に応じて地域と共有し、困りごとを一緒に解決していく地域へ。

みなさんの声 を聞きます

ごま出しの手伝いをしてほしい

最近、ご近所さんの姿を見なくて心配

お茶を飲みながら楽しく過ごしたい

いただいた声について一緒に考えたり、寄りこであれば関係機関等に
つなげたりして解決するお手伝いをさせていただきます。

平成25年から、男山八望地区では、「男山八望地区福祉協議会」を立ち上げ、一人でも多くの住民が安心して暮らせる地域にしていくために、子育て・福祉委員会・民生委員・老人クラブが連携し、話し合いの企画をすすめています。

庄元アンケート スポーツフェスタ

これまでの男山八望地区福祉協議会の取組

ごまかし相談所 2016年度報告

お茶会/パーティー開催 町民の集いの開催

連絡・相談先
男山八望地区福祉委員会(小笠)
八幡町社会福祉協議会 983-4450

地区座談会の推進(取組例)

男山第四住宅福祉委員会

ふれあい茶話会、健康脳活サロン、歩こう会などでの住民同士の交流や、見守り活動推進委委員会を中心に個別への見守りや緩やかな見守りについて協議し、安心して暮らせる地域へ。



男山A地区 福祉座談会実行委員会

子どもに向けた取組みであった「ラジオ体操」の内容を再度検討し、住民の健康増進と交流を目的とした場として再スタートさせた。

体操後は参加者同士がお茶を飲みながらおしゃべりできる地域へ。



絆ネット地域懇談会の開催

概要

地域活動者と専門職等関係機関が一同に集まり、取組みや地域課題の共有を行い、各地域での活動活性化、課題解決に向けた様々な連携促進を図ることを目的に開催します。

《主な出席者》

各地域活動者（自治会、福祉委員会、民生児童委員、老人クラブ）

男山交番連絡協議会

八幡防犯推進委員協議会 男山支部

八幡市地域包括支援センターやまばと・美杉会

小学校・中学校（さくら・くすのき・男山第二・男山第三）

UR都市機構

生活情報センター

八幡警察署

男山地域コーディネーター（だんだんテラス）

八幡市

八幡市社会福祉協議会

絆ネット地域懇談会の開催

第1回

【日時】平成30年12月3日 13時～15時

【場所】男山中央センター集会所

【内容】

- 各地域団体・関係機関の取組み報告
- 意見交換



第2回

【日時】平成31年3月8日 14時～16時

【場所】八幡市地域包括ケア複合施設 YMBT

【内容】

- 講演『みんなで支え合う地域づくり』
講師：龍谷大学名誉教授 加藤博史氏
- ミニシンポジウム
発表者：男山A地区福祉座談会実行委員会
老人クラブ連合会9ブロック
男山南地区民生児童委員協議会



地域医療福祉拠点化の取組み

URの地域医療福祉拠点化の取組みは、住環境の整備や、地方公共団体、医療・介護等を担う関係団体等との連携を図ることにより、暮らしやすい団地・地域の形成、団地で最後まで住み続けられる環境整備を目指すものです。拠点化の進め方に決まった形はありません。地方公共団体、自治会等の地域関係者と連携・協力しながら、地域の状況に応じて、様々な要素の中から必要なものを組み合わせて、住宅・施設・サービス等の整備を推進していきます。

男山団地では、連携協定に基づき様々な整備が進められている中、ここでは、「中層エレベーターの設置」「健康寿命サポート住宅の供給」「生活支援アドバイザーの配置」について紹介します。



地域医療福祉拠点化の取組み

1 中層エレベーターの設置

男山団地をはじめ、昭和40年代に建設した郊外団地には、5階建て・エレベーターなしの住棟が数多くあります。

地域医療福祉拠点化を進める団地における団地内共用部のバリアフリー改修について、国からの支援が拡充されたことを受け、今般、男山団地の一部の住棟において、中層エレベーターの設置工事を実施しています。

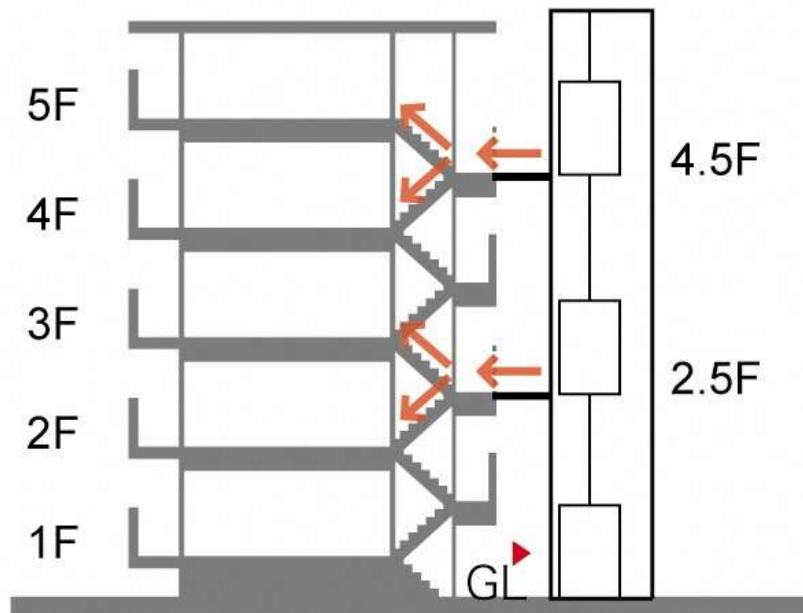


**B42、B44、B45の3棟は
H31.3.20～供用開始**

B38、B39の2棟は工事中

地域医療福祉拠点化の取組み

後付するエレベーターは、既存の階段室の外側に設置し、2～3階部分と4～5階部分の階段室の踊場の腰壁を撤去し、そこにエレベーターの出入り口を設置します。これにより、お住まいの方への工事による影響をできるだけ減らすとともに、2～5階にお住まいの方は、半階分の昇降により外出することが可能となります。



階段とエレベーターの関係



エレベーター設置工事の様子

地域医療福祉拠点化の取組み

2 健康寿命サポート住宅の供給

手すりや浴室暖房を設置する等、高齢者の方の住戸内の安全・安心に配慮した「健康寿命サポート住宅」への改修をすすめています。平成28年度からこれまでに**32戸**供給しております。



- ・人感センサー付照明
- ・手すりの設置 など



- ・またぎ高さを低く設定
- ・浴室暖房の設置 など



- ・段差の軽減
- ・多機能便座への変更 など

地域医療福祉拠点化の取組み

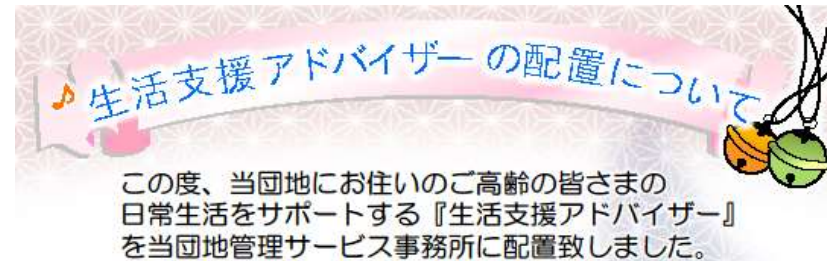
3 生活支援アドバイザーの配置

高齢者の方が安心して暮らし続けられるよう、各種相談対応や電話によるあんしんコール、交流促進のためのイベント等を実施しています。



男山団地で実施した生活支援アドバイザー主催イベントの様子

周知案内の事例



- 配置場所 管理サービス事務所
- 営業日時 月・火・木～土曜日:9時30分～17時(12～13時は昼休み)
※ 水・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は定休日
- 電話番号 (生活支援アドバイザー専用番号)

◎主なサービス内容

- ① ご高齢者の日常生活にかかわる相談受付
※ 管理サービス事務所内に相談ブースを設置しております。
- ② URの高齢者向け制度のご案内
- ③ 公的機関等の高齢者向け施策に関するご案内
- ④ 定期的な安否確認(「あんしんコール」〔登録制〕)

※ これらのサービスは、原則60歳以上のご高齢者の方を対象にさせていただきます。

生活支援アドバイザー紹介

皆様のお役に立ちますよう一生懸命業務に取り組んで参りますので、宜しくお願い致します。



1まち1キャンパス事業

学生たちが京都府全域をキャンパスとして活動できるよう『京都のまるごとキャンパス化』を目指し、支援事業を実施

＜支援事業内容(⑳～)＞

- ①大学・地域連携プロジェクト支援
- ②市町村学生受入施設整備支援

1まち1キャンパス事業による支援

●趣旨

多くの学生が大学のキャンパスを飛び出し、府内各地で地域をフィールドとした活動を経験し、学び、交流する中で成長できる取組みを進め、大学で学ぶことの魅力をさらに高めるとともに、**地域に愛着を持ち地域に貢献する人材を育てることを目指す。**

●令和元年度 府内全体での取組み状況

17の大学・地域連携プログラム(16大学・12市町村)を採択・支援

●関西大学×八幡市(男山地域)への支援

大学が活動地域に拠点を設置、人員を配置し、年間を通じた地域活性化の取組みを実施する**理想的なケース**として事業採択(28~)

＜支援内容＞

大学・学生の活動環境面をサポート

(地域コーディネート活動費用、学生・教員等の移動費用等を支援)

だんだんテラスの取組み

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、
地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

(4)住民が主役となるまちづくりとして、
地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

365日気軽に集まれるだんだんテラス

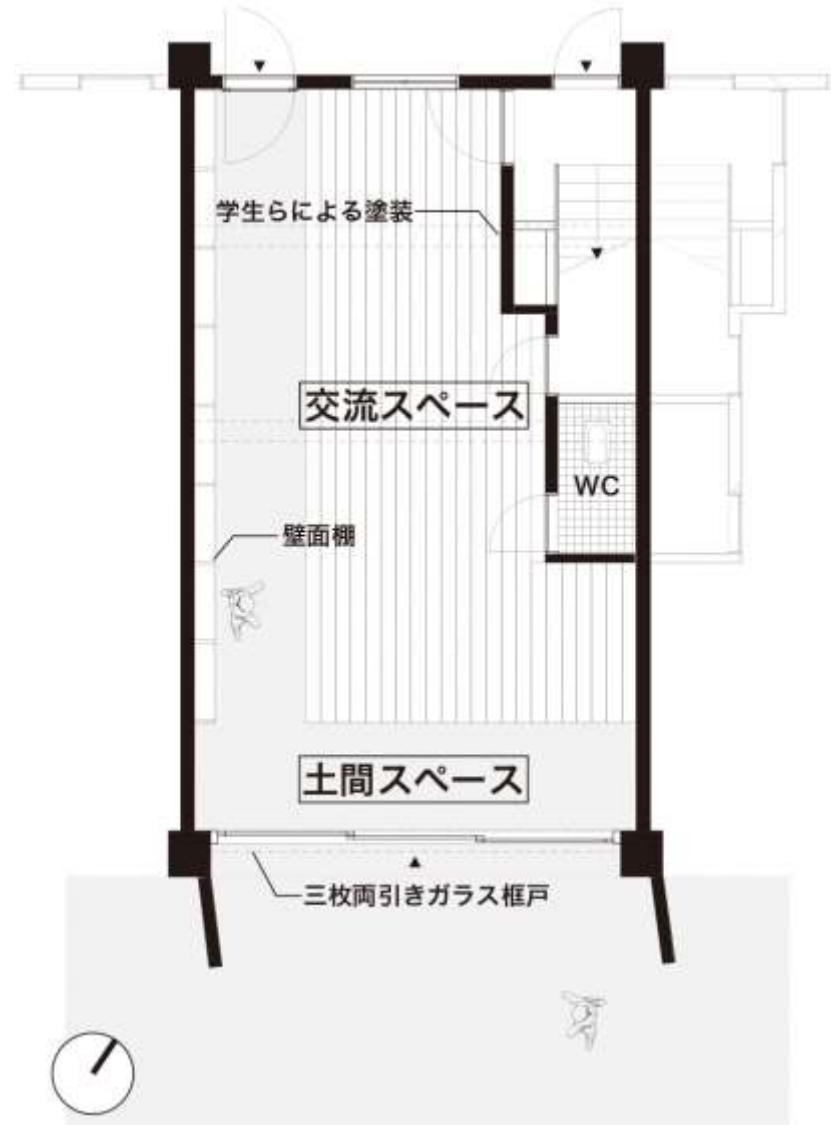


開設日：平成25年11月16日～

運営：だんだんテラスの会

主に大学院生が常駐

時間：年中無休(10時-18時)



住民と学生が協働で継続した運営をめざす

交流・情報交換・活動の場



だんだん朝市



朝10時からのラジオ体操



八幡支援学校が実施する「よろーな」



卒業生を送り出す「もちつき大会」

まちづくり運動体やってみよう会議の開催



男山やってみよう会議

○毎月第3土曜日開催

自発的・自立的に

男山地域のまちづくりに
関わりたい市民を公募。

○開催の狙い

日常の場(だんだんテラス)

非日常の場(やってみよう)

2つのプラットフォーム

で住民活動を支援する。

まちづくり運動体やってみよう会議の成果

A地区集会所の改修プロジェクトでは多主体で協働



UR男山団地A地区自治会、福祉委員
おひさまテラス、だんだんテラスで
UR都市機構で集会所の倉庫を
キッチンにリノベーション。

完成後には、お花見大会を企画。



▲自治会の夏祭り、おひさまテラスのイベントにも利用されている

R1年にはB地区集会所も洋室化・キッチン化を実施

集会所を中心としたプレイスメイキングの実践

現在D地区集会所の改修プロジェクトが進行中



▲ 屋外空間整備前のD地区集会所



▲ 屋外空間整備後のD地区集会所

自治会が吸収合併されたエリア（現在は八望自治会が管轄）で、新しい住民コミュニティづくりを目標にしたプロジェクトを企画。

H30年度末に屋外空間の整備を実施。連携コミュニティースペース化に向けて、現在はコンセプトを検討中。

男山団地の「ゴミ問題」にも取り組む

10/26・27 家庭系粗大ゴミ回収支援社会実験を実施



▲粗大ゴミを抱え階段室を降りるサッカー部の学生



▲公園に集約した粗大ゴミ

UR男山団地C地区の住民を対象に、家庭系粗大ゴミ回収支援を行った。関西大学体育会サッカー部、建築環境デザイン研究室の学生らによって22世帯64点の粗大ゴミを回収。



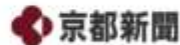
▲利用者から「感謝」の言葉がたくさん寄せられた。

団地に住む外国人居住者との交流・生活支援

団地在住のシリア人妊婦の出産までを学生が支援

座り続けるシリア人妊婦に声かけ病院へ 友情生んだ一言とは

5/18(土) 20:38配信



京都府八幡市男山の男山団地で住民の交流活動に取り組んできた京都市出身の会社員中村穂希さん（25）＝大阪市中央区＝が、日本語を話せない八幡市在住のシリア人女性と親交を深めている。病院の付き添いや行政手続きを手伝うなどして生活を支え、「ちょっと話しかけるだけでもいい」と地域での親交の広がりを期待する。

ゲゼイエルさんの息子のザイドちゃんを抱いて、笑顔を見せる中村さん（八幡市男山・男山団地）

中村さんは、男山団地で活動していた昨年5月、

▲ 京都新聞の記事はネットニュースでも大きな反響を呼んだ



▲ シリア人の妊婦さんを支援した1年間の話を聞く参加者

H31年3月、生活支援の経緯を聞く会を開催。男山地域で日本語教室を主催する団体や市職員、住民らと共有を図った。

「出産」のみならず、

多くの課題が顕在化した。

R1年度「住まいのしおり」のベトナム語への翻訳を関西大学の留学生に依頼。

UR男山団地のベトナム人

居住者との交流会も開催予定。

ココロミタウンの取組み

(UR男山団地C地区)

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、
地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

(4)住民が主役となるまちづくりとして、
地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

ココロミタウンプロジェクトの取組み

必要な時期に自分で住まいに手を加えて、住み続けることのできるセルフリノベーション特区をUR男山団地内に新設(愛称:ココロミタウン)。

【ココロミタウンの特徴】

- ① 申請等により退去時の原状回復義務が免除される特典付の賃貸住宅を供給

⇒平成28年10月15日より特区化

- ② 気軽に取り組める改修サポート体制



住民の皆さんが、住まいながら、日常の暮らしを少し良くする試みを自ら実施することで、住まいに愛着を持って、長く住み続けたいまちとなることを目指します。

ココロミタウンにおけるサポート体制等

専門知識が無くても、改修に踏み出せるようサポート体制等を整備。

① 京都府建築士会による住まいの相談会



毎月2回、専門家が無料相談会を開催。改修のアドバイスやURへの申請に係るサポートを実施しています。

② だんだんテラスによるDIY工具貸出し



365日開設のだんだんテラスでDIY工具の貸し出しを行っています。道具が既にあるだけでハードルがぐっと下がります。

③ 共有の改修事例集(男山リノベカタログ)



ビフォー・アフターの写真をカタログにまとめ、だんだんテラスに設置しています。実際に改修事例が見学可能なモデルルームも3部屋あります。

④ 入居時の負担軽減特典など



DIY指定住宅は入居前に工事ができるよう3ヶ月のフリーレント付であったり、近居割が併用可能など、入居時の特典があります。

だんだんテラスを拡張しラボ機能が充実

だんだんテラス横の空店舗を活用しH30.2.4開設
「だんだんラボ」



セルフリノベーションの促進やものづくりコミュニティの醸成、
DIY(Do it yourself)の精神を軸にまちづくり活動の拠点をを目指す。

だんだんラボの活用でココロミタウンが充実

団地内で“ものづくり”ができる場、工具も貸し出し

賃貸住宅でありながらも、住民がセルフリノベーションすることによって
愛着をもって暮らせる団地を目指し、団地内空き店舗を工房「だんだんラボ」へ改修。

工具の利用講習会を受ければ、誰でも利用可能！

住戸の改修だけではなく、木工などのハンドメイドをしたい方など、幅広く利用いただけます。

充実のサポート体制！

工具・機材を利用しての作業サポートや住戸の改修についての相談会を実施しています。



■ だんだんラボの利用について

【利用時間】 10：00 ～ 18：00

【利用料金】 1ブース半日500円

※工具利用料含む。一部大工工具は利用料別途要
壁面ギャラリー利用（写真や絵などの展示）は1日300円

セルフリノベーションモニター募集企画を実施

UR 男山団地住戸 セルフリノベーション モニターを募集！

UR 賃貸住宅でのセルフリノベーション（自己負担による住戸改修）のモニターを1~2名募集します。モニターに採用された方には、改修費（設備工事を除く）上限 30万円（総工事費の1/2）までを補助します。改修の相談内容については、関西大学団地再編プロジェクトに携わる実務建築家が相談をお引き受けします。

モニター募集に関する相談や 改修に関する相談会を開催します！

9月1・8・15・22・29日（いずれの日も10時~15時）

●応募資格

- ① UR 男山団地にお住まいの方（応募時点）
- ② 2020年1月31日までに改修工事を完了できる方
- ③ 改修後の住まい方調査や広報物への掲載にご協力いただける方

●応募方法

- ① 氏名 ② 住所 ③ 電話番号 ④ 希望する改修内容を明記の上、下記の宛先まで、郵送もしくは Email でご応募ください。
※応募用紙はご用意しておりません。
- 採用された方には、後日事務局よりご連絡させていただきます。

●宛先

『UR 男山団地セルフリノベーションモニター募集係』宛

住所：〒614-8373 八幡市男山八望 3-1847-104

Email: dandan.terrace@gmail.com

●応募締切

2019年9月30日（月）まで

●お問い合わせ

だんだんテラスの会 担当：辻村

Eメール: dandan.terrace@gmail.com 電話: 080-4244-8952



物入れになってしまっている1室を「趣味の部屋」に変えたい！



古くなってきた畳と建具を変えて部屋のイメージを一新したい！



壁紙や襖紙を自分のお気に入りの色に変えて部屋にアクセントを！



緑豊かな環境を楽しめる、広々としたリビングに変えたい！

応募締切
9/30

賃貸住宅のセルフリノベーションの促進を目的としており、UR男山団地の住民が対象。
モニターには、改修費の1/2を補助。

セルフリノベーションモニター募集企画を実施

10月末にモニター2名が決定し、今後改修予定

●モニターAさんの応募理由

居住歴47年A地区に単身でお住まいの女性
S47年の入居はじめより、畳に絨毯を敷いています。
畳のへこみが目立ちます。出来たら絨毯を板張りに変えたいと思っています。
ぜひお部屋を見に来てくださいます。よろしく願いいたします。

●モニターBさんの応募理由

C地区のPetitDIY住宅に、この秋に引っ越すことになっています。
トイレの段差の解消とレバーハンドルへの変更、車椅子が置けるように、
玄関物入の改造を希望しています。よろしく願いいたします。

鉄部塗装 環境応答型色彩デザインの試み



▲ 塗装後の玄関扉



▲ 塗装前の玄関扉

建築環境デザイン研究室、UR都市機構の協働により、C地区の玄関扉、バルコニー手すり他鉄部塗装の色彩デザインを実施。

施工率90%超、住民からも大きな反響があった。

施工者からも「居住者の評判がよく楽しく施工できた」との意見があった。



▲ 緑豊かな男山の環境から色彩が検討されてた

男山地域安心・安全コミュニティ 創造プロジェクト

取組経過

■平成26年度

関係者によるワークショップ形式での意見をもとにそれぞれが実施可能な施策を検討、事業計画を決定・実施

■平成27・28年度

前年度の取組内容をベースに、4部会に整理、連携した取組を実施

- ・特殊詐欺部会・・・被害防止啓発活動、絆ネットと連携した高齢者の見守り活動等
- ・交通死亡事故部会・・・交通事故防止啓発活動
- ・万引き・自転車盗部会・・・自転車総合啓発活動
- ・AEDによる応急処置部会・・・救命講習、自治会防災訓練でのAED訓練

■3年間の取組の課題

- ・行政だけの取組とせず、住民を積極的に巻き込んだ取組とする必要がある
 - ・男山地域の安心・安全に係る類似の活動(※)との整理が必要
(似たようなメンバーにも関わらず、縦割りの活動で、別々で会議をしている)
- ※男山あんしん・あんぜんステーション、絆ネットワーク等

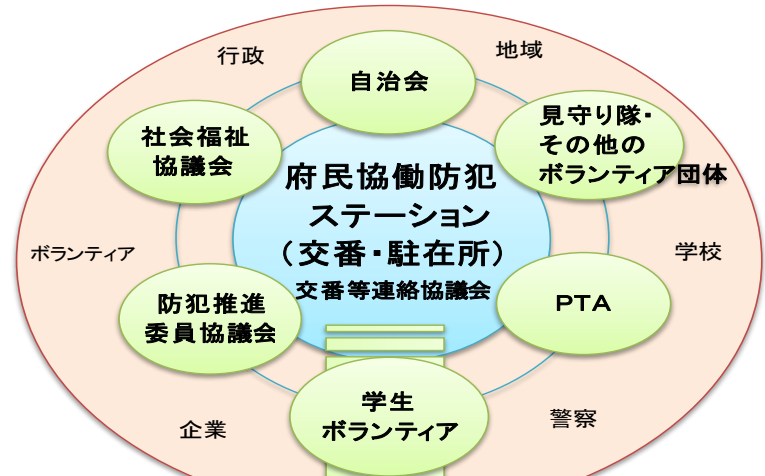
→類似の活動を整理し、住民にとっても活動しやすい環境づくりを行っていく

男山地域安心・安全コミュニティ創造プロジェクト

男山あんしん・あんぜんステーション(府民協働防犯ステーション)

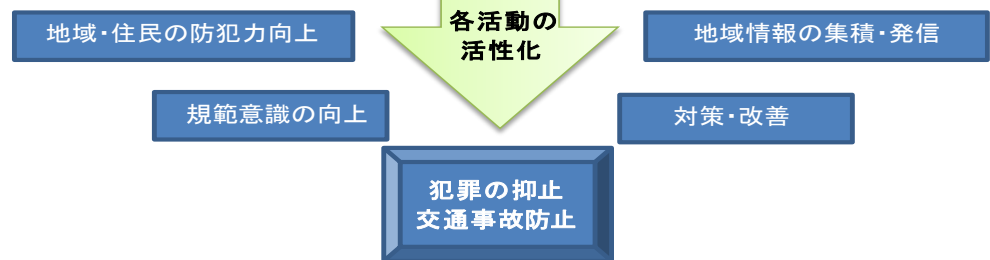
(京都府安心・安全まちづくり推進課・八幡警察署)

- ・交番・駐在所等を核として、地域の安心・安全に関わる様々な団体がネットワークを形成
- ・地域団体が、警察や行政と連携して、防犯、交通安全等地域の安心・安全について具体的な活動を検討し課題解決に取り組む
- ・自主的な活動を継続的に行うようリーダー兼事務局長的な役割を担うステーション・コーディネーターを育成・配置



あらゆる団体を横断する
ネットワークづくり
情報交換・協働活動の場

○参画団体は例示です。
府内全交番・駐在所に
設置済



取組の課題

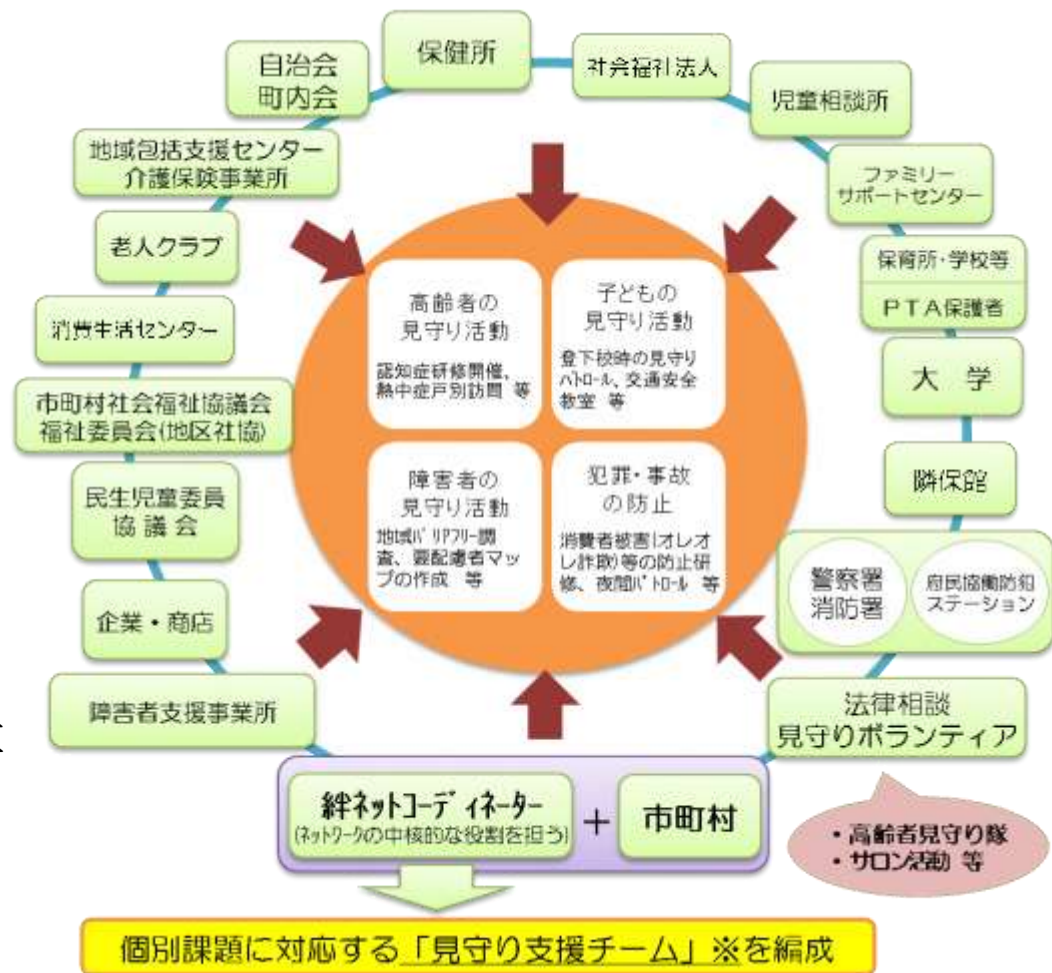
構成メンバーは実質、交番連絡協議会のメンバーのみで、他団体との連携ができていない

男山地域安心・安全コミュニティ創造プロジェクト

絆ネットワーク地域懇談会

(八幡市社会福祉協議会)

- 個々の取組はありながら横断的なつながりが希薄な中、各団体が地域の課題について横断的に調整・推進するためのネットワークを構築
- 地域の高齢者、障害者、児童などの見守り・生活支援を進めていく
- 地域団体の活動を横断的に調整する役割を担うコーディネーターを配置



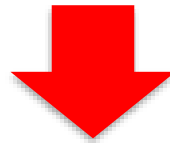
取組の課題

基本的に自治会単位の活動にとどまっており、交番関係等、他団体との連携した取組には至っていない

男山地域安心・安全コミュニティ創造プロジェクト

取組の方向性

- 男山あんしん・あんぜんステーション(府民協働防犯ステーション)及び絆ネットワークの取組の趣旨は、地域の関係団体、警察、行政が連携し、広く地域の安心・安全の取組を進めていくということで共通
- 行政の縦割りの弊害で参画団体に偏りがあり、当初の目指すべき姿の構成になっておらず、かつ会議体が多いことで、参加住民の負担となっている



- 基本的な方向性としては、両団体が連携し、狭義に「防犯」や「見守り」といった行政の縦割りでテーマに縛られることなく、広く地域の安心・安全に向けた方策を、地域全体で検討していくこととする
- 当面は、まず両団体の関係づくり・情報共有を主とし、参加者の意見等を踏まえながら今後の動きを検討するとともに、それぞれの既存の取組についても情報共有し、相互に協力を行っていくこととする
- 本プロジェクトとしては、関係団体との調整を始め、取組へのサポートを行っていく

男山地域の情報発信

■ だんだんテラス facebook おひさまテラス facebook

■ 八幡市役所

<http://www.city.yawata.kyoto.jp/category/1-23-0-0-0.html>

■ UR男山団地(特設サイト)

https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

■ UR男山団地(住宅情報)

https://www.ur-net.go.jp/chintai/kansai/kyoto/80_1840.html

■ 関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト(KSDP内サイト)

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/ksdp/index.html>

■ 京都府政策企画部企画参事(中部担当・府民協働担当)

http://www.pref.kyoto.jp/chiikiriyoku/koukyouin_yawata.html